

## 会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第2回入間市博物館協議会
開 催 日 時	令和2年12月18日(金) 午前10時00分開会・午前11時45分 閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	中林敦子 会長
出席委員(者)氏名	町田郁夫副会長 奥田貴哉委員 酒元希朱委員 中込勝英委員 内田さよ子委員 清水裕司委員 田中晃一委員 横田力男委員 石川真弓委員
欠席委員(者)氏名	欠席者なし
説明者の職氏名	新見教育部長 加藤館長 石川副館長 小椋主幹 梅津副主幹 津久井副主幹 小田部副主幹 いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<令和2年度 第2回入間市博物館協議会> 1 開会 2 会長あいさつ 3 博物館長あいさつ 4 議事 (1) 協議事項 ① 「入間市博物館基本計画」の進捗状況について 5 その他 ① 「むかしのくらしと道具展」のご案内 6 閉会  公開・非公開の別 全て公開
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料1 博物館基本計画進捗状況 「むかしのくらしと道具展」チラシ 指定管理者自主事業チラシ
事務局職員職氏名	新見教育部長 片寄教育部次長 加藤館長 石川副館長 大久保主幹 小椋主幹 梅津副主幹 津久井副主幹 小田部副主幹 平田主任 いるまミュージアムパートナーズ・飯島責任者
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項	
議 事 の 概 要 ( 経 過 )	<p>&lt;令和2年度 第2回入間市博物館協議会&gt;</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>① 「入間市博物館基本計画」の進捗状況について【資料1】</p> <p>5 その他</p> <p>① 「むかしのくらしと道具展」のご案内</p>
決 定 事 項	<p>&lt;令和2年度 第1回入間市博物館協議会&gt;</p> <p>4 議事</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>「入間市博物館基本計画」の進捗状況について、事務局側から項目ごとに進捗状況と自己評価の説明が行われ、内容に関する質疑応答があった。今回は(5)情報発信の充実まで確認し、後半の説明は次回に持ち越しとなった。</p> <p>5 その他</p> <p>第24回「むかしのくらしと道具展」について担当者より説明があった。</p>

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
	<p><b>4 議 事</b>  <b>(1) 協議事項</b>  <b>①「入間市博物館基本計画」の進捗状況について</b></p>
中林会長(議長)	<p>次に、次第の「4」、議事「(1) 協議事項」に入ります。①「入間市博物館基本計画」の進捗状況についてです。</p> <p>この「基本計画」は、5年ごとに見直していく内容になっています。現在の計画は、平成29年度から令和3年度までを対象期間としています。次の計画は、令和4年度から8年度が対象期間となります。来年度の協議会は新しい「基本計画」策定のための協議を行う予定です。本日と次回の2回の会議で、これまでの計画の進捗状況について事務局から報告を頂き、次の5年間でさらに力を入れて取り組むべきもの、見直しや方向転換を図るべきものを検討する準備としたいと思います。それでは、【資料1】に関して、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料1 大項目(1)の内容を説明】</p>
横田委員	<p>資料の増加はどの程度なのでしょうか。また、資料のデジタル化は、学芸員が作業されているのか、外部に依頼されているのかどちらですか。</p>
津久井副主幹	<p>新規資料の増加は、市民の皆様から申し出があった際にお話しを伺ったり資料調査をしたりしながら、受け入れを判断しており、点数は随時増えている状況です。年間何件という具体的な数を申し上げるのは難しいですが、コンスタントに申し出があります。資料のデジタル化は、図書資料・逐次刊行物のデータ入力を委託し、年間数千件のデータを追加しています。それ以外の資料は、学芸員の指導のもと、パート職員などに手伝ってもらいながら作業を進めています。</p>
田中委員	<p>入間市出身の方の作品が収蔵庫にあると思いますが、これらの作品を市民に紹介する計画はありますか。集客に苦勞しているなら、市民の作品を出していくのも良いのではないのでしょうか。</p>
石川副館長	<p>今のところ計画はありませんが、今後検討してまいります。</p>
中林会長(議長)	<p>【資料1】の一番右の欄に「評価」がありますが、基本計画の進捗状況を見て、次の計画の参考にするためのものと考えてよろしいのでしょうか。</p>
石川副館長	<p>次回の計画策定における基本になると考えていただければと思います。</p>
中林会長(議長)	<p>わかりました。続いて大項目(2)の報告をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料1 大項目(2)の内容を説明】</p>
田中委員	<p>平成29・30年度の協議会で検討した際、常設展については段階的ではなく一度にリニューアルしたいと答申したのに、予算が付かず事業計画</p>

	<p>に十分反映されないのは残念です。市民意識として、博物館を良くしたいという思いがあるのに、それが反映されないのは理解できません。</p>
清水委員	<p>要望となりますが、市報などで市民から希望を募り、自分のコレクションを展示する企画を行うと面白いのではないのでしょうか。</p>
石川副館長	<p>検討させていただきます。</p>
中込委員	<p>今後計画されている歴史の展示室のリニューアルは、答申内容の大半が認められたと考えてよろしいのでしょうか。</p>
小田部副主幹	<p>答申の内容を基に何度も見積もりを取り、予算要求を行いました。財政的には大変厳しく、十分に希望が通っているとは言い難いです。</p>
新見部長	<p>通常でも厳しい財政状況に加え、コロナ禍の中で全面リニューアルは厳しい状況です。市全体で予算が限られる中、苦肉の策としてどこかを削って行うこととなります。今後の経済状況にもよりますが、当面はこういった形で対処せざるを得ません。どうかご理解をいただきたいと思います。</p>
奥田委員	<p>全面リニューアルのために必要な予算と、現在計画されている歴史の展示室だけをリニューアルした時の予算をそれぞれ教えていただけますか。</p>
横田委員	<p>奥田委員に関連しますが、アリットフェスタの予算をリニューアルに充てるという考え方がよくわかりません。全体のスクラップアンドビルドの規模がわからないので教えていただけますか。</p>
小田部副主幹	<p>平成31年3月にいただいた答申内容にそった見積もり金額ですと、全面リニューアルの予算は9,200万円少々となります。歴史の展示室のみとし、できるだけ予算を抑えられるよう協議を重ねた結果、現在出されている予算は520万円少々となりました。アリットフェスタを1回開催する際の予算は、概ね200万円なので、2～3年分の予算をリニューアルに充てるというのが、具体的なスクラップアンドビルドの内容です。</p>
加藤館長	<p>リニューアルの予算は減額となりましたが、旧黒須銀行の復元工事関係や、西洋館の一部改修工事の予算は、実施計画で認められています。博物館全体の予算として見ると、増額している状況です。入間市博物館は規模の大きい施設であり、全体のリニューアルを一度に実施するのは予算的にできない中で、他の事業と予算を調整しながら対応しなければならない事についてもご理解いただければと思います。</p>
田中委員	<p>博物館のリニューアルがどうしても必要という事で、委員で知恵を絞り、最終的な答申を出したはずですが。旧黒須銀行や西洋館の事をやらねばならず、リニューアルが実施できないという見方もわかりますが、今まで実施してきた事業を削ってまで予算を回すという考え方はどうなのでしょう。それを理解してくれと言われてもできかねます。</p>
津久井副主幹	<p>来年度から3か年、アリットフェスタの予算は減額されますが、何も事業を実施しないわけではありません。今後の計画では、指定管理者に企画</p>

	展を実施してもらい、新しい客層を呼び込む事も検討しています。旧黒須銀行や西洋館が整備されることで、博物館への来館者を呼び込めるという相乗効果も期待されています。現場としては、限られた予算の中で工夫していきたいという思いを持っていますので、ご納得はいただけないと思いますが、ご理解いただきますよう、何とぞよろしく願いいたします。
中林会長(議長)	アリットフェスタ3回分の予算を改修費に充てるという決定はどこが下したもののなのでしょう。
津久井副主幹	アリットフェスタの予算を改修費に充てるとしたのは実施計画を所管している企画課となります。
小田部副主幹	博物館の予算枠が決まっており、その範囲内で予算を配分する際、優先順位をつけねばなりません。常設展示の改修は最優先課題ですが、それを実現するためには、ある程度まとまったスクラップアンドビルドが必要となります。また、企画サイドへのアピール材料として、「博学連携」や「市民文化活動への支援強化」など他の重点的取り組みとリンクし、長期的に波及効果に結び付く事も挙げ、何とか予算が認められたところです。
横田委員	博物館にとって、現在のアクティビティを支えられるのは特別展なのではないでしょうか。特別展示室で市民団体やサークルに活動場所を提供するのは賛成ですが、だからといって特別展を減らすのはどうでしょうか。
小田部副主幹	博物館の本分である研究成果を反映させる場所は、今まで特別展示室・市民ギャラリーでしたが、リニューアル後は、常設展示室と特別展示室を主に使用して展開する計画です。市民ギャラリーはできるだけ市民の方が使える場とし、常設展示室は調査研究の発表の場とするなど、すみ分けを考えています。
中林会長(議長)	本件に関しては全体を見てから話し合ったほうが良く感じます。全体を確認後、再度話し合うという事でよろしいでしょうか。 → <u>全員異議なし。</u> それでは、大項目(3)の説明をお願いいたします。
事務局	<b>【資料1 大項目(3)の内容を説明】</b>
横田委員	様々な活動を館内・館外で要求されているようですので、全部を実施するのは大変だろうと思います。どの活動を最低限の柱にするのか、しっかり考えるのが大切ではないかと思います。
中林会長(議長)	お時間も無くなってきましたので、全て説明が終わってから質疑応答に入る事にしてもよろしいでしょうか。 → <u>全員異議なし。</u> それでは、大項目(4)(5)の説明をまとめてお願いします。
事務局	<b>【資料1 大項目(4)(5)の内容を説明】</b>
中林会長(議長)	(3)～(5)についてご意見ご質問がありましたら、お願いします。

横田委員	<p>現在出されている刊行物は図録・紀要の2つですが、研究の成果は外部に取り上げられなければなりません。他の事業と両立させつつ研究の成果を出す事は難しいかと思いますが、学芸員の専門性は何をもって評価されるかと考えますと、特別展を簡単にやめてほしくないと感じます。</p>
田中委員	<p>今回のコロナ禍の様な事があると、小中学校生たちが博物館へ来る事は難しい状況になります。来年度はどのような計画になっていますか。</p>
小椋指導主事	<p>来年度の博物館授業については、今のところ例年通りの形で計画を進めております。今後どうなるかわかりませんが、コロナ禍においても博物館授業ができるよう、調整中です。</p>
内田委員	<p>私も博学連携事業に参加しておりましたが、コロナの関係は道具展にも大きく影響を与えています。また、市の予算も重要で、博物館の予算からバス代が出ているために子どもたちは来館できています。予算やコロナとの兼ね合いで出前授業の充実という形になってくるのではないかと感じます。なお、学校側の授業時数も厳しいという話を聞いています。</p>
田中委員	<p>小中学生が来なくなると集客が相当減ってしまいます。出前講座も集客にカウントできるならすべきと思います。現状、授業時数を確保しつつ博学連携を両立させる事を考えると、来年度も難しいのではないかと思います。予算については、市側でやっていただくしかないですが、集客の減少については、考慮しておく必要があると思います。</p>
横田委員	<p>博学連携で小中学生が来るのは非常に良い事だと思います。展示を眺めるだけでは身につかない、体験をできる事が重要です。博物館授業と出前授業は館のかなり大事なアクティビティだと思います。そういう事について、是非継続して実現できるようにしていただきたいです。</p>
酒本委員	<p>博学連携事業については、学習指導要領にそった事業を展開していただいていると理解しており、学校側も大変感謝しております。</p>
中林会長(議長)	<p>本日は時間となりましたので、議論はここまでとさせていただきます。今回は大項目(6)から先の内容を協議したいと思います。以上をもちまして議長の職を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p>次回会議：3月19日(金)午前10時より 会場…博物館会議室 各委員への依頼事項：令和元年度外部評価点検シートの提出</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>年 月 日</p>	
議長	<p>の署名 _____</p>
議長が指名した者の署名	<p>_____</p>

